

| | | | |
|----|------|------|-----------------------------------|
| 学年 | 3 学年 | 実施期間 | 5 月 1 1 日 (月) ~ 5 月 1 5 日 (金) |
|----|------|------|-----------------------------------|

| 教科 | 科目名 | 単元又は題材 | 学習の目標 | 課題等 | 評価について |
|------|-------|--|--|---|---|
| 国語 | 現代文 B | 評論『ぬくみ』 | 論理的な文章を読んで、その要旨を的確に捉え、内容について深く考えとともに、自分の考えを表現できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 『ぬくみ』プリント 2 ①～③をやる。プリンターのある人はうち出したプリントに記入。ない人はHPやGoogleclassroomに載せたPDFファイルを見て自分で解答したものをレポート用紙(A4サイズ)で提出すること。(次回登校した際に提出。) *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出のこと。 ・今までの課題も同時に提出して下さい。(新クラス名も忘れずに記載すること。) | プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲、書く力、読む力、知識理解) |
| | 古典 B | 『大晦日は合はぬ算用』 | 古典文学・近代(江戸時代)文学に触れ、その価値観や美観を知る。 | 本文プリントに、語句プリント・教科書の脚注を使い、現代語訳せよ。登校した日に提出せよ。 | 提出したプリントから、「読む力」の観点評価をする。小テストの実施もあり得る。 |
| | 国語表現 | | 相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書くための言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「国語表現演習ノート」p32～p34を下段を見ながら自分でやりなさい。(次回登校の際ノート提出。以前の課題も同時に提出。) 2. 新型コロナウイルスの蔓延で、次の①～③における問題点と解決法について、後日論述できるよう、準備のためのメモを作りなさい。[メモは箇条書き。レポート用紙3枚まで。全て自筆。参考文献(ネット上のものを含む)については、出典を明らかにし、引用部分に必ず下線(傍線)をひいておくこと。] ①自分②日本③世界(5月27日以降、登校した際に提出。) | <ol style="list-style-type: none"> 1. ノートの提出状況・解答状況(誤答に対し、答え合わせだけでなく、正答をきちんと記入して、勉強しているかなど)で評価。(関心・意欲・態度、書く能力・知識・理解) 2. 提出は後日。提出後、評価する。 |
| 地理歴史 | 世界史研究 | <ul style="list-style-type: none"> ○環大西洋革命とバクス=ブリタニカ 2 南北アメリカの革命 3 フランス革命とナポレオン帝政#1 | <ul style="list-style-type: none"> ○南北アメリカの革命についての特徴や独立後の問題点について、自分の考えと教科書等の記述を比べながら理解する。 ○フランス革命の経過をまとめ、革命の意義や問題点について考える ○環大西洋革命と現代とのつながりについて考える。 ○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○教科書p.250～259を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。 ①アメリカ合衆国の独立過程についてまとめ、独立の意義や独立後の問題点についてまとめる。 ②アメリカ合衆国の独立とラテンアメリカ諸地域の独立の違いについてまとめる。 ③フランス革命が急進化しく過程をまとめ、そこにある意義や問題点をまとめる。 *詳細は、G Suiteの指示を参照する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解) |
| | 日本史研究 | 中世から近世へ幕藩体制の展開幕藩体制の動揺 | <ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の成立期の諸問題を史資料を通じて理解する。 ・三都の発達に見る都市の経済的繁栄に着目して、諸産業の展開を考察する。 ・文治政治から正徳の政治にかけての幕政の安定過程を考察する。幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、改革や田沼時代の諸政策の意義について考察する。 | <ul style="list-style-type: none"> 4月23日更新の課題を引き続き行っていく。 ※4ステージ演習ノートP74～111 ※提出は演習ノートに直接書き込んでも、レポート用紙などに記入しても構わない。 ※G Suiteも確認してみてください。 | 「4ステージ演習ノート日本史B」の課題を行い授業再開後に提出。確認テスト等で学習状況を確認する。 |

| | | | | | |
|----|--------|---|---|--|--|
| | 地理B | 地理情報と地図 | 様々な種類の地図の活用や、地理情報の地図化などの学習を通して、現代世界の地理的事象をとらえるための技能を身につける。 | ・教科書P6～9を読みGPSとGISの違いと地図の歴史による世界観の広がりをもとに整理する。 ・教科書P13を読み各図法の特徴をノートに整理する。 | ノートの提出状況と整理内容により評価する。 (関心・意欲) (思考・表現) (資料活用の技能) (知識・理解) |
| 公民 | 政治経済 | 民主政治の基本原則 | 人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 | 教科書P4～19をよく読み、休業期間中の新聞報道やネットニュースの記事の中から人権・国民主権・議会制民主主義・権力分立がテーマとなりうる記事内容についてレポート2枚以上にまとめる | レポートの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・思考・表現・資料活用の技能・知識・理解) |
| | 現代社会研究 | ・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加 | 民主政治における個人と国家について考察し、政治参加の重要性と民主社会で生きる倫理についての自覚を深める。 | 日本国憲法にかかわり、「精神の自由」をめぐる争われた裁判の例を2つレポートしましょう(訴訟名・精神の自由にかかわる理由・訴訟に至るまでの概要・裁判所の判断・あなたの考え)。 | ・政治に積極的に興味を示している。(観点1) ・人権の諸課題について考察している。(観点2) ・民主政治に関する資料を活用している。(観点3) ・民主政治の基本原則を理解している。(観点4) |
| 数学 | 数学Ⅲ | 数列の極限 無限等比数列 無限等比級数 | ○無限数列、無限等比数列の収束・発散について理解する。 ○無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めることができる。 ○いろいろな無限級数の収束、発散を調べることができる。 | 数学Ⅲの教科書P91～P110の例題および問題をノートまたはルーズリーフに解く。 詳しくはG Suiteを参照してください。 | 課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度) |
| | 数学応用研究 | 空間ベクトル | ○平面と同様に、空間においてもベクトルを考えることができることを理解する。 ○空間のベクトルについても内積・位置ベクトルなどを定義し、いろいろな図形の問題に応用できる。 | 数学Bの教科書P87～P103の問題をノートまたはルーズリーフに解く。 詳しくはG Suiteを参照してください。 | 課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度) |
| | 理系数学研究 | I・A+II・B approach | ○数学I・A・II・Bの基本的な問題の復習 | リンク数学演習I・A+II・B P2～P62の問題を解く。 | 課題内容について ・問題を解く際に必要な数式が書かれているか(技能) ・要点が抑えた解答ができていないか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度) |
| 理科 | 生物 | ニューロンとその興奮 | ニューロン(神経細胞)の基本的な構造とそのはたらきを理解する。 | ①教科書P214～223を参照し、HPに載せた課題プリントに取り組むこと。 プリンターのある人は課題を印刷し解答を記入すること。ない人はノートまたはルーズリーフ(A4サイズ)に解答を記入し提出すること。 ②今までの課題も同時に提出すること。 *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出すること。 | プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解) |
| | 生物研究 | 代謝とエネルギー 呼吸と発酵 | 代謝におけるATPの役割、呼吸においては各過程の反応を学習し、その際有機物が分解され、ATPが合成されることを理解する。 | ①教科書P60～70を参照し、HPに載せた課題プリントに取り組むこと。 プリンターのある人は課題を印刷し解答を記入すること。ない人はノートまたはルーズリーフ(A4サイズ)に解答を記入し提出すること。 ②今までの課題も同時に提出すること。 *クラス・出席番号・氏名を忘れず、左上ホチキス留めして提出すること。 | プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解) |

| | | | | | |
|------|------|----------------------------|---|--|---|
| | 物理研究 | 運動量、力積、等速円運動 | 力学分野における力のはたらき方や法則を理解し、現象を科学的にとらえる力を身に付ける。 | アクセスノート物理P14～23をノートまたはルーズリーフに解くこと。(5月29日まで) 休校期間中に提出する場合は前回掲示したP26～35の宿題も一緒に提出してください。 | プリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解) |
| | 化学研究 | ○化学平衡 ・可逆反応と化学平衡 | ○身のまわりにある化学変化(化学反応)の中には、たがいに正反対に進む反応がある。このような両方向に進む反応を可逆反応と言い、可逆反応に関する現象や法則等について理解する。 | ○化学の教科書P102～111を読み、教科書「P110～111のトレーニング」、ベストフィット化学の「P66の確認事項」「P71の類題89」「P72の練習問題93」を、ノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答する。 また、発展課題に挑戦する者はベストフィット化学の「P73の練習問題94～95」の問題を同様の方法で解答する。 | ○課題の内容および振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・可逆反応の特徴について、意欲的に探究しようとする姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・可逆反応に関する事象や例について考察できる。(思考・判断・表現) ・化学平衡の法則から、平衡定数およびそれに関する値を求めることができる。(技能) ・可逆反応と化学平衡について、基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。(知識・理解) |
| 保健体育 | 体育 | ○体育理論 1単元 運動・スポーツの文化的特徴 | スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 | 保健体育の教科書(現代高校保健体育)P. 116～134の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例(教科書の単元から抜粋) 人間にとって動くとは。スポーツの始まりと変遷。文化としてのスポーツ。オリンピックと国際理解。スポーツと経済。ドーピングとスポーツ理論。 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。 表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること (テーマ、学年、クラス、番号、名前) 3. 手書きであること 4. 考察(感想や考えたこと)を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること | レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展等について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展等について、書き出すことができる。(知識・理解) 【提出】 学校再開後・提出 (こちらから指示します) |
| | 音楽総合 | ○好きな音楽を紹介しよう | ○自分の好きな楽曲に対して意欲的に分析を行い、その楽曲のもつよさや美しさを他者に伝える。 | ○プリント「好きな音楽を紹介しよう」を作成しましょう。4月分の休校中の課題より、PDFをプリントして①～③を記入・作成しましょう。 ③のフリップと原稿については、用紙の種類は自由です。最初の授業で点検します。 | ○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・楽器や音楽を形作っている要素に関心を持ち、意欲的にレポート作成に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・音楽を形作っている要素を覚識し、それらの働きを感受しながら鑑賞している。(鑑賞の能力) |

| | | | | | |
|-----|--------------|--------------------------------------|--|---|---|
| 芸術 | 美術総合 | ○美術鑑賞 | ○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。 | ○前回提示した美術関係のテレビ番組のレポート・感想文を引き続きA4レポート用紙にて追加作成。(部数自由、簡単なものでよい) | ○レポートの内容を次の評価基準により評価し、学期および年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、番組での解説やその他自ら調べた諸資料を参考に、主体的なレポート作成を試みている(美術への関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、感性や想像力を働かせて、造形的美しさや作者の意図などを素直に感じ取っている(鑑賞の能力) |
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅲ | Lesson2 Food Culture | ○地域によっての主食の違いや食べ方の違いなど、食に関する異文化を英文で理解することができる。 ○聞き手に気持ちや情報が伝わるように本文を発音することができる。 | 教科書L2の英文を書き、その下に日本語訳を記入する。またそれぞれのパートの問題(P33, 35, 37)も解く。またP38、P39の問題も解く。ルーズリーフかレポート用紙に記入する。今度登校する時に、今までの課題と合わせて提出する。 | ○英訳と問題の解答を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・食に関する異文化について、正しく理解して、日本語に訳せている(理解の能力) ・指定された範囲の英文を書き、最後まで日本語訳できている(関心・意欲・態度) |
| | 英語表現Ⅱ | なし | | | |
| | 英語会話 | 分野別10min. トレーニングブック 第1回から第3回 pp. 2-4 | 日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができる。 | 分野別10min. トレーニングブックの第1回から第3回までをCDを聴いて解答を書き、最初の授業で提出すること。冊子の裏面に氏名等を記入しておくこと。前回提示していた課題に代わり、こちらに取り組んでください、 | 課題内容について ・CDの音声を正確に聴き取れているか(技能) ・正確なスペルで解答が書けているか。(知識・理解) ・分かりやすく丁寧に書かれているか(関心・意欲・態度) |
| | 英文読解 | Section 1 | ○問題解答を中心に、英文の内容把握に積極的に取り組み、学んだ知識を活かしつつ体系的に英文を理解する。 ○テーマに関する内容や知識に自ら興味を持って理解を深める。 ○命令文、原形不定詞に注目し、英文の流れをつかむ。 | Section 1 を、Intro1~3と同じ要領で読み、問題を解き、マスターノート(p. 16~19)を完成させる。休校期間中に提出する場合は、解答したマスターノートの該当ページをコピーし(レポート用紙かルーズリーフも可)、記名の上、提出してください。Intro1~3も同様です。提出方法やタイミングについては変更の可能性もあります。 | ○レポートの内容・振り返りを次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・課題に熱心に取り組む、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・英文の概要を把握できる。(理解) ・テーマに関心を持ち、言語や文化等についての理解を深めようとする。(知識・理解) |
| | 英語語法理解 | | | | |
| 家庭 | 子供の発達と保育 | 子どもの遊び | 遊びを通して、子どもの育つ力と発達段階を知る。 | 教科書P83ページを参考に年齢別に適した絵本を選び、読み、レポートにまとめる。 ※レポートの書き方 ①年齢別絵本の題名 ②それぞれの内容・発達への影響は何か ③正しい読み聞かせのポイントをまとめる ④全体の振り返り ※絵本は、インターネットなどから探し、読んでください。買いに行く必要はありません。 | 課題の内容を次の評価基準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・年齢別に適した絵本選びができたか。(技能) ・絵本の内容・発達への影響のまとめができていくか。(関心・意欲・態度) |

| | | | | | |
|-----------|-------|---------------------|--|--|---|
| 情報 | 社会と情報 | 4章 コミュニケーションとネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> ・同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・電子メールやメッセージングアプリなどを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。 ・電子メールやメーリングリストを利用する時のルールとマナーを理解する。 ・電子掲示板を利用する時のルールとマナーを理解する。 ・コミュニケーションを行う時のプロトコルについて学ぶ。 ・TCP/IPについて理解する。 ・IPアドレスやドメインについて学ぶ。 | 教科書準拠問題 (プリントNo. 6) | <ul style="list-style-type: none"> ・発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解したか。 ・同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解したか。 ・電子メールやメッセージングアプリなどを利用したコミュニケーションと留意点について理解したか。 ・電子メールやメーリングリストを利用する時のルールとマナーを理解したか。 ・電子掲示板を利用する時のルールとマナーを理解したか。 ・コミュニケーションを行う時のプロトコルについて理解したか。 ・TCP/IPについて理解したか。 ・IPアドレスやドメインについて理解したか。 <p>(定期テストで評価します)</p> |
| 総合的な探究の時間 | | キャリアデザイン | 最終学年を迎え、具体的な進路先を決定し、進路の実現を目指す。 | 卒業後の進路先として具体的に考えている企業、大学、専門学校等について、その特徴をレポートにまとめる。必ず複数の学校、企業について調べること。レポート用紙 (B5) 2枚以上。図、写真、表などの添付可。 | <p>○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解) |